

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
夏休みを前にいよいよ外に、と思っていた矢先にまさかの新型コロナウイルスの新規感染者の激増です。

依然としてコロナとの戦いは予断を許しません。

4回目のワクチン接種も始まりましたが、引き続き、3密回避、マスクの着用、手洗いの励行など、新しい生活様式を意識した日常生活が求められます。

昨年12月定例会に続いて6月定例会で代表質問に登壇いたしました。

4期目の任期も最終年度を迎え、スタート時に掲げた公約の総仕上げの思いで質問に立たせていただきました。

今回は「若者が戻ってきたくなるようなまち」をメインテーマに、そのためにすべきことを物語仕立てで質問項目とする手法を初めてとりました。

議会質問は何といっても聞く側にとっての分かりやすさが求められます。改善すべき点は改善し試行錯誤を繰り返しながら、甲府市議会に新しい風を巻き起こしていく決意です。



質問動画は→ [甲府市議会インターネット中継](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

6月定例会から

(1) **本市の最近の人口動態について質問**しました。

2021年の住民基本台帳人口移動報告によれば、本市も435人の転入超過という注目すべき結果となっています。これまで大都市圏への人口流出に悩んできたところですが、今回の結果から甲府市が「選り取られた」ことを表しており、この傾向を今後も持続させることが重要と質しました。

⇒これまでの取組みに加え、さらにきめ細かい移住相談や「**移住支援金**」の拡充を行うとともに、新婚世帯を対象に、住居費や引越費用などを支援する「**結婚 新生活支援事業**」を開始。また新たな都市観光の拠点として、甲府城周辺における小江戸情緒が漂う空間づくりや、遊亀公園及び附属動物園の整備を進め、まちなかエリアの一体的な交流と賑わいの創出を図る。さらに、「こうふ開府500年記念事業」を通じて、多くの市民の皆様の中に**故郷(ふるさと)を愛する気持ち**が生まれ、これが本市を離れてもいつか戻ってくる要因となりうること、本市とかわりを生涯持ち続けようという心につながる。

(2) **ウィズコロナ時代における熱中症対策について質問**しました。

新型コロナウイルス感染防止のためのマスク着用が常態化し、熱中症リスクが一段と高まっているなか、最も心配される子どもたちの熱中症対策と出水期を迎える中での万が一の際の避難所生活での熱中症対策について質しました。**(狙いは水分補給の認識を共有すること)**

⇒子どもたちについては、**こまめな水分補給**、マスクを外すことの指導、スポットクーラーの設置などの対応をとっている。

避難所については、大型扇風機のリースや、飲料水の冷却などに活用できる氷の供給による暑さ対策、また、常駐している地域連絡員や避難所運営委員が連携を図る中で、非常用貯水槽などの備蓄飲料水を活用し、**こまめに水分を補給する**よう働きかける。

(3) **ペットボトル削減に向けた取り組みについて質問**しました。

本年4月1日施行のプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律は「捨てることを前提としない経済活動」を目指しており、その趣旨からは今後ペットボトル削減に向けた取り組みが要請されますので当局の取り組みの考えを伺いました。**(狙いはマイボトル運動の啓発)**

⇒7月実施予定の「甲府市プラスチック・スマートキャンペーン」で、ヴァンフォーレ甲府や県、NPO 団体と連携し、脱プラスチックへのチャレンジを実施していただくとともに、プラスチック問題に関するパネル展において、再生可能資源製品の紹介や、**マイボトル等の使用についても普及啓発**していく。

(4) **「給水」を切り口とした回遊性を高める取組みについて質問**しました。

マイボトル持参の外出というライフスタイルが注目されることが予想されますが、甲府のおいしい水道水を提供する給水スポットを設けることにより新たな資源となる可能性があります。まちの回遊性を高める一つの方策として給水スポットを設けることについて考えを伺いました。

⇒観光資源である御嶽昇仙峡や回遊コースへの給水スポットの設置については、「甲府のおいしい水道水」のPRに加え、マイボトルによるペットボトルの削減や熱中症対策に貢献するとともに、観光客や市民の皆様が歩いて甲府の良さを発見する機会となることが期待されることから、**関係部局と協議し、設置に向けた検討**をしていく。

<今回のストーリー>

「熱中症対策としての水分補給の重要性」⇒「ペットボトル削減による地球温暖化対策を進める手段としてのマイボトル運動」⇒モンドセレクション最高金賞受賞の甲府のおいしい水道水の活用⇒そのための給水スポットの設置



新しい甲府の資源になれば**人が集まる**⇒**転入者が続出**する

⇒市民のあらたな「**誇り**」「**愛着心**」が醸成される

⇒本市を離れても「いつか戻ってきたい」「**かかわりを生涯持ち続けたい**」という「**戻ってきたくなるまちづくり**」につながる